

国語科学習指導案

横浜市立山下小学校

指導者 岩沢 厚志

1 日時・場所 平成26年11月19日(水) 第5校時 パソコンルーム

2 学年・組 第4学年2組 32名

3 単元名 写真と文章で説明しよう
「委員会リーフレット」を作って、みんなで紹介し合おう

4 指導事項と言語活動

(1) 指導事項

○関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。

【書くこと ア】

○書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

【書くこと ウ】

○文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。【書くこと オ】

(2) 言語活動(児童の活動目標)

○収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。

5 単元目標

リーフレット作りを通して、必要な情報の整理や目的に応じた情報の配列・編集の仕方を工夫して、情報を発信することができる。

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
・ 情報を読み手に 分かりやすく伝 えるため、絵、 写真などの視覚 に訴える資料を 活用しようとし ている。	・ 絵や写真など、収集した資料から説明の目的や文章の種 類に応じてより効果的なものを選んでいる。 ・ 視覚化したり具体化したりして説明するために、文章を 図解したり写真を解説したりしながら、文章と写真など の資料とを関係付けて説明する文章を書いている。 ・ 表記や文末表現の使い方などに注意して間違いを正した り、自分の考えを明確に記述しているか、表現の曖昧さ はないかなどについて確かめたりしている。	・ 句読点を適切 に打ち、必要な 箇所は改行し て書いている。

7 児童の実態

「書くこと」に関わる活動では、これまでに「読書生活について考えよう」の単元において、アンケートを作成して自分が知りたい情報を集め、それを整理して表やグラフにして表すとともに、自分の考えや感想を交えて報告書の形に表す活動を行った。また、「新聞を作ろう」の単元では、社会科の学習と関連して、ごみや水について学習してきたことを、見出しやレイアウトを工夫しながら新聞の形にしてまとめる活動を行った。どちらの活動においても、どの情報を書けばよいか最初のうちは戸惑う児童が多かったのだが、情報を取捨選択して書く内容を厳選することで、徐々にまとめられるようになっていった。

情報機器の扱いについては、まだまだ習熟はできていない段階である。「だれもがかかわり合えるように」の単元や総合的な学習の時間の中で、パソコンでインターネットを利用して、調べ学習をすることは行ってきた。自宅でも頻繁にパソコンを利用しているという児童がいる一方、自宅にパソコンがないという児童も少なくなく、情報機器に触れる機会は児童によって差があるようである。

本単元に入る前に、学年で上郷宿泊体験学習に行ったのだが、そこで写真をたくさん撮っておき、それを用いて写真つきの感想文を書く活動を行った。そこで、ジャストスマイルの「はっぴょう名人」を用い、少しずつではあるが、文書の作成に慣れてきている児童も増えてきた。

8 教材について

本単元では、調べたことをもとにリーフレットを作成する活動を行う。その際、写真に対応する文章を、アップの視点（個々の具体的な事柄や工夫など）で記述したり、ルーズの視点（仕事の全体像の説明など）で記述したりする、いわば「文章表現のカメラワーク」やその効果を意識した構成および記述に指導の中心を据えたい。その意味で、写真の組み合わせは、情報を具体的に伝える効果と並んで、言葉による情報発信のしかたに影響を及ぼすことになる。

また、本単元では、インタビューによる取材が組み込まれている。相手と円滑に関わろうとする態度や、相手のよさを引き出そうとする意識をもって臨ませたい。取材が有効に行われるためには、5W1H（いつ・どこ・だれ・何・なぜ・どのように）を手がかりとしながら、事前に尋ねたい項目を整理することが大切である。

リーフレットを作成するにあたって、リーフレットとはどういうものを理解し、その特長を生かして、仕事の内容などを写真と文章で伝える課題が設定されている。先行する単元「アップとルーズで伝える」の学習で理解したことをおおいに活用させたい。

リーフレット作りの中で、ジャストスマイルの「はっぴょう名人」を活用しながら、写真や文章を構成・推敲する活動をする。コンピュータを用いることで、児童の興味や関心を高めることになると考える。また、このソフトを用いながら編集作業を行うことで様々なメリットがある。一つ目は、写真を添付したり文章を書いたりすることが容易にできるということである。写真のサイズを変えたり文章を推敲したりすることが簡単にでき、また、いろいろなレイアウトを試しながら吟味することもできる。二つ目は、発表する際に、完成したものを大型テレビやスクリーンに投影することで、効果的に見せることができる。三つ目は、データとして保存しておくことができるので、次の学年で参考にすることもできる。以上のことから、本単元の活動において、ICT機器を活用することはとても効果的であると考えられる。

8 指導と評価の計画（全13時間）【本時10／13】

次	学習活動と内容	評価規準(☆)と指導の手立て(○)
1	「委員会リーフレット」を作る見通しをもとう ① ・教材文を通読し、学習内容を大きくつかむ。 ・リーフレットの特長を知る。 ② ・自分の学校や地域ではどんな人がどんな仕事をしているか話し合う。 ・学習課題を話し合い、委員会リーフレットを作るための計画を立てる。	○本物のリーフレットをいくつか用意しておき、具体物からその特徴をとらえさせる。 ○前単元「アップとルーズで伝える」で学習したことを生かして、全体を捉えたり部分を捉えたりして仕事を紹介することと、効果的な写真を組み合わせることを確認する。 ☆アップとルーズで撮った写真と文章を組み合わせ、仕事の内容などを伝えるリーフレットを作ることに意欲をもっている。【関心・意欲・態度】
2	「委員会リーフレット」を作るための情報を集めよう ③ ・インタビューする相手と内容を決める。 ・インタビューするときに大切なことを確認する。 ・インタビューメモを作る。 ④ ・インタビューメモをもとに、インタビューをする。 ・必要な写真を撮影する。	○「だれ」「どこ」「いつ」「何」「どのように」を尋ねることで、仕事の内容や工夫していることが分かることを、全員で確認しておく。 ○事前に児童の取材先を把握しておき、取材相手をお願いをしておくとともに、写真を撮影することの許可を得ておくことで、児童がスムーズに取材できるようにしておく。 ☆取材相手を決め、取材内容について考えてメモを作り、必要な情報を集めている。【書く】

3	「委員会リーフレット」を作ろう ⑤ ・教科書の作例を見て、何がどのように書かれているかを確認、工夫を見つける。 ・自分の作るリーフレットの構成を考える。 ⑥ ・インタビューメモをもとに、書くことを選択し、写真を選び、リーフレットの構想を練る。 ⑦ ・パソコンを活用してリーフレットの内容を構成していく。 ⑧ ⑨ (本時) ・パソコンを活用してリーフレットの内容を推敲する。 ⑩ ・リーフレットを仕上げる。 ⑪ ・グループごとにリーフレットを紹介し合う。 ・感想を発表し合う。 ⑫ ・単元の学習を振り返り、まとめる。	○全体から部分へ、部分から全体へのどちらが自分の取材した内容を伝えるのに適しているのかを考えさせる。 ☆教科書の作例から構成のよさを見つけ、自分の作品に生かそうとしている。【関心・意欲・態度】 ○取材した内容のすべてを書くのではなく、選択して書きまとめるということを理解させる。 ○写真や文章の配置や大きさなどをいろいろ試させ、読み手を意識した構成を工夫させる。 ☆表記や文末表現の使い方などに注意して間違いを正したり、自分の考えがよりよく伝わるように修正を加えたりしている。【書く】 ☆書いたものを紹介し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合っている。【書く】 ○単元の学習全体と、本単元で身に付けた力を振り返り、今後、国語の時間に限らず、他教科や生活の中に生かすようにする。
---	--	---

9 本時目標

自分の考えが読み手により分かりやすく伝わるように、リーフレットを推敲することができる。

10 本時展開 (9/12時間目) (用意するもの: パソコン・プロジェクター・スクリーン)

学習活動と内容	評価規準(☆)と指導の手だて(○)
1 学習のめあてを確認する。	
読み手により分かりやすく伝わるように、リーフレットを推敲しよう	
2 推敲をするときのポイントを確認する。 ・写真と文章の配置や対応 ・表記や文末表現の使い方 ・文字の色や大きさの工夫 ・枠や罫線の工夫	○本物のリーフレットや教科書の作例をもとに、リーフレットの推敲をするときのポイントを、児童とやり取りしながら確認していく。 ○良い例と悪い例の見本を用意し、比較できるようにする。
3 読み手を意識して、推敲する。 ・同じ委員会を取材してきた小グループで声をかけ合いながら推敲していく。	○それぞれのパソコンの画面を見合いながら、アドバイスし合えるようにする。 ☆表記や文末表現の使い方などに注意して間違いを正したり、自分の考えがよりよく伝わるように修正を加えたりしている。【書く】
4 どのように推敲したか全体で共有する。 ・推敲の際に工夫したことや、推敲前と推敲後でどのように変わったか発表する。	○児童の作品をスクリーンに映し、全体で確認しやすいようにする。 ○特によかった工夫を取り上げ、次時の活動で生かせるようにする。
5 本時の振り返りと次時の見通しをもつ。	○次時でリーフレット作りの仕上げをすることを確認する。